



新鹿会 Vol.6

Shinrokukai Report

令和4年6月発行

希望を持って
前へ

[連絡先] 鹿沼市千渡 2332
[TEL] 0289-60-6760
[編集責任者] 湯沢ひでゆき
※こちらまでご意見・ご感想をお寄せ下さい。



6月半ばも過ぎ梅雨明けが待ち遠しい季節となりました。これからの時期気温がますます上昇してきます。上手なマスクの着脱を心がけ、熱中症対策をしていきたいですね。6月6日の登壇にあたっては、コロナ禍やウクライナ情勢など世の中の状況が刻々と変わって行くことを踏まえ改めて身を引き締めて取り組んだ登壇となりました。

新鹿会代表 湯沢ひでゆき

〈新鹿会の主張〉

新鹿会は、5本の柱を軸に
県政発展のため尽力して参ります。

- 1.子育て環境の整備
- 2.充実のシニア世代
- 3.農林業の活性化
- 4.県民生活の安心安全なまちづくり
- 5.企業育成・雇用の確保

答弁 県内の観光事業は持ち直しつつあり、更なる回復成長に向け安定した人材の確保が重要な課題のひとつである。県では、観光分野での人材育成確保のため、観光しジャーサービス等の知識や技能を有する人材の養成、奨学金の返還助成を行い定着促進を図っている。

また、外国人人材は貴重な働き手としてマッチングのための面接会や、企業向けセミナー等の積極的な活用を促進し、



現場の意見を聞きながら人材の育成・確保等を支援して本県観光地の活性化を図っていく。

Q アフターコロナに向けた観光産業再生の恒常的な働き手の確保について

●長引くコロナ禍により、宿泊業・飲食サービス業における就業者数は減少しており、総務省の労働力調査によると、前年比約22万人減少している。宿泊業・飲食サービス業における安定した労働力の確保は、アフター



コロナに向けた観光産業再生のため不可欠な要素であり、早急に解決すべき課題である。

県は、観光産業の再生に向けた恒常的な働き手の確保にどのように取り組んでいくのか。



アフターコロナに向けた観光産業再生の恒常的な働き手の確保について

答弁 『とちぎ国際戦略』において、ベトナムは今後5年先の有力な市場である「拓くステージ」として位置づけられており、企業等の販路開拓や海外進出支援などの交流を促進することとしており、県産品等の輸出拡大に向けたいやいやとのオンライン商談会や梨の現地プロモーション等に取り組んできた。

今年度は、新たに貿易投資促進に関する経済セミナーを開催するなど、引き続き経済交流につながる効果的な取り組みを実施し、今後とも駐日ベトナム大使館と良好な関係を保ちながら、更なる県産品等の輸出拡大や県内企業の海外展開等、



経済交流の促進を図り本県経済の活性化に繋がるよう取り組む。

Q ベトナム社会主義共和国との交流について

●昨年10月にとちぎ型大使館外交として知事が本県の魅力を発信したことに、よりベトナムのファム・ミン・チン首相が来県した。今後も定期的に交流を続けることにも、県産品や県産農



産物の輸出拡大に向けた取組を積極的に展開する。経済的な繋がりを深め、強力な友好関係を構築していくべきであるが、どのようなビジョンの下、交流を進めていくのか知事に伺う。

ベトナムについては、県産農産物の輸出が非常に有望な国であることから、今後戦略的に販路拡大して行きたい。

まず、梨の「にっこり」は、年々輸出を伸ばしており、更なる拡大について検疫条件に対応できる産地条件の支援とともに、現地販売のプロモーション等に取り組む。

また、牛肉についても高い評価を受けており、今後現地バイヤーの方にとちぎ和牛の品質の高さ、美味しさをしっかりと伝えることで販路拡大につなげる。

令和4年 第387回 通常会議 一般質問



議会視聴はこちらから

働き手

【要望】外国人観光客の受け入れが本格的に再開された時に、県内で受け入れ態勢が整っていない場合は、他県に流れていく可能性があります。本県の魅力を発信するとともに、万全の体制を整えて受け入れ再開を迎える必要がある。

日光や那須エリアなどを中心に、様々な観光スポットを有する本県にとって、観光産業は重要な価値をもつ存在である。再生に向けて県として十分な支援を要望する。



答弁 県では、いのちを支える栃木県自殺対策計画に基づき、自殺者の減少にむけて各種対策に取り組んできた。特にコロナ禍における県民の不安に寄り添い、支援を行うため相談事業の拡充につとめてきた。また、県市町担当職員に加え、医療・教育等の関係者に対する研修を実施するほか、「ゲートキーパー」の市町による要請を支援するなど、相談支援体制の強化に取り組んでいる。



その他の質問

- 携帯電話の電波不感地域への対応について
- 地域コミュニティ再生に向けて
- 高校入試の在り方について
- 学校における気候変動適応について



個人がおかれている状況や気持ちに寄り添えるような支援を！



●県が積極的に取り組んでいることもあり、本県における自殺者数はピーク時の平成21年から令和2年まで減少傾向にあった。しかし、長引くコロナ禍の影響から令和3年は増加に転じていることに加え、今年に入ってからウクライナ情勢や物価の高騰など、日常生活に対する漠然とした不安が

人々の心理状態に大きな影響を与えている。人々が抱える不安を少しでも取り除くためには、個人が置かれている状況や気持ちに寄り添うことが重要である。県としてもこのような寄り添い型の支援にこれまで以上に積極的に取り組んでいく必要があると考える。

答弁 学校におけるトイレの整備については、障がいのある児童生徒、教職員や保護者への配慮など、学校開放時や避難所開設時の状況も考慮する必要がある。県立学校では、これまで新たな施設の整備やトイレの大規模改修時に障がいのある児童生徒や、教職員の在籍状況等を踏まえ、車いす使用者等が安心して使用できるバリアフリートイレを設置してきた。

結果、現在県立学校では8割にバリアフリートイレが設置され、障がいのある児童生徒や



Q 県立学校におけるバリアフリートイレの整備にどう取り組むか

●最近では、性の区別無く誰もが利用出来る一定の広さを備えたバリアフリートイレが見られるようになった。県立学校は、災害時に避難所となるケースも多く、こうしたトイレが整備されていけば避難してきた子育て中の家族や、障害のある子どもたちなどにも役に立つようになる。誰人取り

残さない社会の構築というテーマを教育の現場から実践していくためには、全ての県立学校に目的に応じた複数のバリアフリートイレを設置し、災害時などにおいては誰もが気兼ねなく利用できる環境を整備する必要があると考えるが、今後どのように取り組んでいくのか。



1 都市計画道路 3・4・202号 古峯原宮通り 千渡東

●鹿沼市 千渡
●全体計画/
延長:1,085m
幅員:25m
事業費:約28億円



2 主要地方道 宇都宮鹿沼線 飯岡・飯岡東

●鹿沼市 千渡～白桑田
●全体計画/
延長:1,200m
幅員:25m
事業費:約29億円



鹿沼市方向の渋滞

3 一般県道板荷玉田線 辺釣工区

●鹿沼市 辺釣
●全体計画/
延長:900m
幅員:10m
事業費:約27億円



4 一般国道293号 楡木バイパスⅡ期工区

●鹿沼市 下奈良部町～磯町
●全体計画/
延長:3,000m
幅員:22m
事業費:約50億円



5 一般県道 鹿沼環状線 千渡北

●鹿沼市 千渡
●全体計画/
延長:2,100m
幅員:25m
(うち優先整備区間
延長:1,200m、
事業費:約13億円)



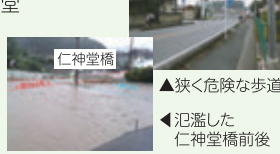
6 一般国道121号 天神町

●鹿沼市 天神町
●全体計画/
延長:360m
幅員:15m
事業費:
約15億円



7 一般国道293号 仁神堂

●鹿沼市 仁神堂
●全体計画/
延長:750m
幅員:16m
事業費:
約15億円



▲狭く危険な歩道

◀氾濫した仁神堂橋前後

8 一級河川 小敷川 西鹿沼町 楡木町

●鹿沼市 楡木町
●全体計画/
延長:2,900m
事業費:約29億円



H27.9月豪雨時の小敷川▶

9 一級河川 大芦川

●鹿沼市 北半田～下沢
●全体計画/
延長:13,200m
事業費:約70億円



護床工事施工状況▶

10 一級河川 武子川 深津

●鹿沼市 深津～千渡
●全体計画/
延長:4,300m
事業費:約46億円



11 下の沢【急傾斜地崩壊対策事業】

●鹿沼市 口栗野
●全体計画/
延長:210m
事業費:
約2.7億円



12 一級河川 思川【災害復旧助成事業】

●鹿沼市 口栗野～久野
●全体計画/延長:3,200m
事業費:約23億円
●事業期間:令和元年度～令和4年度(予定)
●事業内容:築堤・護岸、河道掘削等



堤防決壊状況(柳橋上流) 護岸施工状況(柳橋上流)



堤防決壊状況(天満橋下流) 護岸施工状況(天満橋下流)

梅雨の時期や台風にも備え
今一度防災について聞いてみました!

防災に対する心構え

災害には地震、津波、土砂崩れ等がありますが、私たちにとって一番身近な災害は集中豪雨や台風によるものです。普段から地域において、防災教育活動に取り組んでいる『菊沢きずなプロジェクト』のリーダー小林紀雄さんにお話を伺いました。



「災害の時は大げさに!!『我がこと意識』を持って行動することがとても大切です。避難準備等は『マイタイムライン(防災行動計画)』で自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、自ら考え命を守ることに」

いちご一会とちぎ国体
第77回 国民体育大会
本大会/令和4(2022)年10月1日(土)～11日(火)
冬季大会/令和4(2022)年1月24日(月)～30日(日)終了

いちご一会とちぎ大会
第22回 全国障害者スポーツ大会
令和4(2022)年10月29日(土)～31日(月)

国体
●正式競技(本大会37競技)
●特別競技(1競技) ●公開競技(5競技)
●デモンストラションスポーツ(本大会31競技)

障入ホ
●正式競技(14競技)
●オープン競技(3競技)

「『ローリングストック(普段の食品を少し多めに買い置き)』」



「災害の時は大げさに!!『我がこと意識』を持って行動することがとても大切です。避難準備等は『マイタイムライン(防災行動計画)』で自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、自ら考え命を守ることに」

『菊沢きずなプロジェクト』
リーダー **小林 紀雄** さん
立ち上げたきっかけ
平成27年の北関東豪雨がきっかけです。はじめて経験する大きな災害に、菊沢コミセンの避難所開設や災害復旧に翻弄され、有事を想定した訓練シミュレーションが必要だと強く感じ、立ち上げました。

〈プロフィール〉・防災士・鹿沼市消防団副団長
・かぬま市民活動サポーターズ理事

必要です。台風などは3日前から策定するのと良いですね。常に冷静に判断し行動することが大切です。

家族の防災について、日頃からの備えを教えた方がいいですか?

「家族の存在を口頭から知っている、周りの方に自身を頼る口頭から知ってもらう事が大切だと思います。また、自治会など地域防災のなかで、高齢者の避難についても重要視していますので、高齢者側も見守る側も互いに協力し合うことが必要です。」

「災害の時は大げさに!!『我がこと意識』を持って行動することがとても大切です。避難準備等は『マイタイムライン(防災行動計画)』で自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、自ら考え命を守ることに」

新しい生活様式を身につけて with コロナ

この夏も健康に!!

感染防止の3つの基本
①身体的距離の確保 ②混雑時のマスク着用 ③手洗い

しかし... 暑い日やスポーツで 熱中症 になってしまうような日も

そういう時には

熱中症を防ぐために マスクをはずしましょう

2m以上

暑い時・スポーツ時 屋外で人と2m以上離れて

マスク着用時

熱中症に関する大切な事

熱中症警戒アラート発表時は 熱中症予防行動の徹底を!
運動は原則中止。外出は避け涼しい室内へ移動

熱中症による死亡者 約8割が高齢者
約半数が80歳以上ですが若い世代も注意が必要。

高齢者の熱中症は 半数以上が自宅で発生
高齢者は自宅を涼しく、若い世代は屋外での作業中や運動中に注意が必要。

編集後記
本会報誌の発行も6回目となりました。お読みいただきました皆様に、心より感謝を申し上げます。会報誌の作成にあたり、私たちスタッフは日々の生活のなか、掲載内容を常に意識することを心がけています。休みの日でも思いついたら連絡のやり取りもします。発行を重ねるこ

とで、スタッフ間の意識の高まりを感じています。「よりよい会報誌になるよう」お互いの心がけが気持ちひとつにしているのだと思っています。今では家族よりも話をする時間が多いくらいなのです!笑(^_^) 次回も皆様に「より身近な県議」のテーマにそって作成するようスタッフ一同取り組んでいきたいと思ひます。次号もぜひお楽しみに♪

「悪女(わる) ~働くのがカッコ悪いなんて誰が言った~」
本県のイメージアップをはかるため【#地味にいい栃木】のハッシュタグで栃木の魅力を伝えている今!!
先日テレビをつけると、栃木県庁、議会議事堂が画面いっぱいまでできました。4月から始まった日テレ水曜10時放送!【悪女(わる)~働くのがカッコ悪いなんて誰が言った~】のドラマのなかです。皆様ご存じでしたか?毎週楽しみにしていた方も多はず。ストーリーは主人公が会社の最下層からステップアップしていくドラマです。壁にぶち当たりながらも持ち前の明るさから成長していく!!まるで栃木県の魅力がランクアップしていくようですね。イメージアップにもつながりそうです(^_^)v

